

公認団体支援内容・判断基準

公認団体	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 活動実績・国際性・組織力・継続性・還元性のある団体に対してより適切な支援をする ■ APU公認団体として活躍することで、よりAPUの団体としてのアイデンティティを高める ■ APUのサークル全体の発展につなげる
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外遠征・大会参加等の活動経費における学生負担が軽減される ● 安定した練習場所を確保できる <ol style="list-style-type: none"> 1. 補助金の優先割当 補助金を公認団体へ優先的に割り当てます。 2. 施設・備品 優先予約 クォーター単位での固定利用に加え、公認団体のみ、年間で週二回の固定利用をすることが可能。 ※ ロッカーを優先的に使用することができる 3. 顧問の就任 団体毎に運営面のサポートができるよう、全公認団体は教職員が顧問として就く。 4. 大学の冊子への団体紹介の掲載等の優先的な広報 5. 入学式等の大学主催行事での演目披露 6. 学外への情報発信
判断基準	<p>公認団体は<継続性><活動実績><運営体制><国際性>の4つの柱で判断されます。審査は書類および面接で実施します。</p> <p><継続性></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 最低でも大学への登録が2年以上継続されており、活動を5年以上実施している。 ■ メンバーが少なくとも10名から構成されている <p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各分野において以下の内容を満たしている <p>【スポーツ系】学生連盟に加盟し、公式大会に積極的に参加している。又、県大会以上の大会に出場している</p> <p>【文化芸術系】学内にて定期演奏会など催物・発表の場を定期的に設けている</p> <p>【学術・ボランティア系】定期的に学内および学外にて学術活動をしている。大学内にて発表の場を定期的に設けている</p> <p><国際性></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 以下の①、②いずれかの点を満たしている ① 1カ国・地域出身の学生でメンバーの8割以上を占めていない ② 「国際相互理解」に繋がる活動を実施している ■ 広報が日・英両言語にて行われ、かつ、連絡事項やミーティングが、メンバー全員が理解できるように工夫され、適切に運営されていること

	<p><運営力></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スチューデントオフィスに提出したセメスター活動報告書、会計報告書、その他各種申請書が過去2年以上残されており、今後3年以上保管していける ■ 部内で実施しているミーティングの議事録・記録が過去2年以上残されており、今後3年以上保管していける ■ 団体方針や代表選出などの運用が文章化されている ■ HPが少なくとも年に1度は更新されている、もしくは学内外への情報発信が定期的に行われている。 ■ スチューデント・オフィス等への書類提出が適切にかつ期限内に行われていること
役割	<p>APU を代表する団体として、以下のようなAPU課外活動の発展に貢献する役割を積極的に担うことが望ましい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 大学とサークルとの橋渡しとしての役割を担う。公認団体会議に出席し、APUサークルの代表として意見を述べる。 ② リーダーズキャンプもしくは新入生歓迎企画などの全学イベントの企画・運営にメンバーが携わる

※上記の内容は変更になる場合がある旨、了承のこと。